

TAKASHIMAYA *art information* 高島屋大阪店6階美術画廊のご案内 2025 9・10月

※美術画廊・ギャラリーNEXTは原則毎週火曜日を準備日とさせていただきます。店舗の営業日・営業時間等につきましては高島屋ホームページにて最新情報をご確認ください。
※作品の販売に関するお問い合わせは、美術画廊係員までお願いいたします。

9月3日(水)～8日(月)

第19回 「個の地平」

国画会を中心メンバーであり現代洋画壇を牽引される先生方により2007年に立ち上げられたグループ展も、今回で19回を迎えます。著しく変化し多様化していく時代の中で、〈アーティストは個の地平を持ち、みずからそれを切りひらき、確かな個を輝かせなければならない〉という志を持ち続け、メンバー12名のそれぞれが、「描くことへの姿勢」を制作によって示し、さらに「絵画の本質」へ迫る渾身の作を一堂に展覧いたします。12名の「個」が様々な響きあいながら多彩に変容していく展示空間をこの機会にぜひご覧ください。

〈出品作家〉

安達 博文	稲垣 考二	梅澤 希人	大沼 蘭	小川 浩司
五島 綾子	佐々木 豊	田代 甚一郎	田中 いっこう	津地 威汎
前田 昌彦	増地 保男			(敬称略・50音順)

9月10日(水)～15日(月・祝)

つむぎ びと かい 紬人の会 Ⅲ

愛知県立芸術大学 日本画専攻出身6名で構成される「紬人の会」の先生方は、大自然との対話の中で移ろいゆく時と共に真実を探し、いかに自己顕示するか、挑戦と研鑽を重ねておられます。精一杯に自己と向き合い制作された作品の数々をどうぞご覧ください。

■9月13日(土)午後3時から

9月17日(水)～22日(月)

こ ばやし ゆう じ 小林 裕児と動物たち

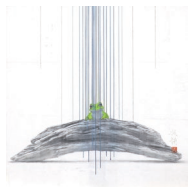
先生が深い敬意と愛情をもって向き合う動物たちとの関係性を通じて、人と自然とが織りなす不思議な物語の世界へと私たちを誘います。絵筆に導かれたその世界には、生命への賛歌と、静かな祈りが満ちています。画面に広がる幻想的なファンタジーの世界をお楽しみください。

■9月20日(土)午後3時から

9月24日(水)～29日(月)

襲名記念 十四世 坂 高麗左衛門 展

400年余りの長い歴史と伝統を誇る、由緒正しい萩焼の宗家十四世 坂高麗左衛門先生の襲名記念展を開催いたします。2022年に十四世を襲名され、今回高島屋大阪店での初お披露目となる、坂家伝統の古格を受け継いだ、清新で伸びやかな力作の数々を一堂に展覧いたします。



石谷 雅詩「雨せい」(6S)

ほし の せい 星野 聖 作陶展

岡山牛窓の、茶室もある自宅兼工房の傍らに築いた半地下式窯を駆使し、窯詰め工夫と長時間焼成によって、胡麻や自然釉の流れ、微妙な色彩に豊かな窯変の鮮明な景色など、焼き締め陶でありながら華麗な作品を次々と生み出す炎の魔術師、星野聖先生。見事な土味の大甕、大壺、花器、茶器、酒器など、紐作りによる力強さ溢れる星野陶の造形の妙味を、この機会に充分ご堪能いただければ幸甚に存じます。

「備前 式石大甕」(径69.8×高さ88.6cm)



さ さ き のぶ よし 佐々木 伸佳 硝子展

佐々木伸佳先生は1980年岩手県出身、2002年に秋田公立美術工芸短期大学専攻科を修了し、富山市ガラス工芸センターに勤務された後、静岡県伊豆市にて築窯独立されます。ヴェネツィアのさまざまな吹きガラス技法を習得し、高難度で幻ともいわれるガラス中に空気を整然と並べるレティチェロや、ガラスパーツを並べて模様を作るムリーニと呼ばれる技法を独自に進化させた作品など、吹きガラスの高い技術と独自の世界観で創作される作品の数々を展覧いたします。



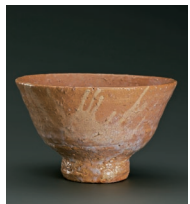
「レース網目模様水指」(径18.5×高さ20.0cm)

かたち さわ だ し こう 闇を舞う心象～澤田 志功 展

ゴシックという呼び名の持つダークな神秘感を散りばめながらも、軽やかな彫刻作品に仕立て上げる澤田先生…現代人が密かに憧れる罪悪趣味をくすぐる新作約20点をお楽しみください。



「Gold Medal」(15×13×高さ31cm)



「茶碗」(径14.7×高さ8.9cm)

TAKASHIMAYA Art Information 2025 9・10月

高島屋大阪店6階ギャラリーNEXTのご案内

※美術画廊・ギャラリーNEXTは原則毎週火曜日を準備日とさせていただきます。店舗の営業日・営業時間等につきましては高島屋ホームページにて最新情報をご確認ください。
※作品の販売に関するお問い合わせは、美術画廊係員までお願いいたします。

9月3日(水) 15日(月・祝)

※9月9日(火)は開催いたします。

あさ か ひろ よし 浅香 弘能 -The truth of illusions-



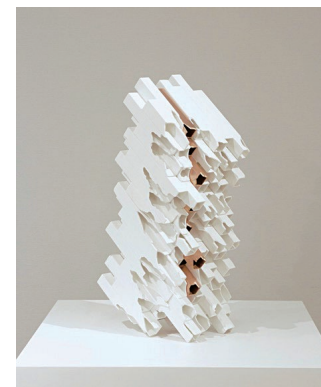
「目の前に見えているものだけが見るべきすべての事実ではない」…仮象と錯覚のテーマのもと、石彫作品とリアルなモノを混在させたインスタレーションが皆さまに問いかける会場をお楽しみください。

「KASHOUMON -(C8H8)n- 32」(41×32×2cm〈サイズ可変〉)

9月17日(水) 29日(月・祝)

※9月23日(火・祝)は開催いたします。

たけ うち こう ぞう 竹内 紘三 展 -Aspiration-



ギリシャの遺跡など、今は失われていても、かつては確かに存在していたという時間の流れを表現する竹内先生の制作の原点は、焼成前に落として割ってしまった作品が時を経て放っていた美しさにあります。自分の感覚や美意識に沿って制作してこられた竹内先生の初個展となります。

「Modern Remains Echoes」(31×23×高さ52cm)

10月1日(水)～13日(月・祝) ※10月7日(火)は開催いたします。

た じま しゅう ご

田島 周吾 日本画展

先生は、日本画という伝統的で少し堅苦しく思われがちなジャンルの中で、美しい岩絵具の色彩を活かしつつ、観る人が思わずクスッと笑ってしまうような、そんな楽しさを感じてもらえる作品を目指して、日々挑戦と探究を重ねながら、先生ご自身も絵を描くことを楽しんでおられます。4mを超える大作から小品まで、作家独自の摩訶不思議な世界が広がる作品の数々を、この機会にどうぞご堪能ください。



「七古堂」(127×51cm)

ギャラリートーク

■10月4日(土)午後3時から

10月15日(水)～20日(月)

すず き おさむ

人間国宝 鈴木 藏 展

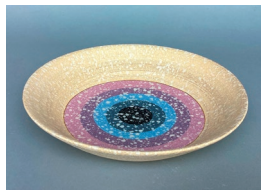
先生は1934年、岐阜県土岐市に生まれ、この地で焼かれた「志野」の研究と制作に邁進してこられました。常に時代に即した陶芸の在り方を模索し、桃山の原点を踏まえながらも、古陶の形式に拠り所を求めることなく、「現代の志野」を追求しておられます。力強さと格調の高さを併せ持つ志野茶碗を中心に、瀬戸黒茶碗や花器などの作品群を一堂に展覧いたします。時代を超えて新たな表現を切り拓いてこられた鈴木藏先生の作品世界を、ぜひこの機会にご高覧賜りますよう、ご案内申し上げます。

10月22日(水)～27日(月)

し みず いち じ

清水 一二 作陶展

丹波・立杭生まれで、現在も同地にて作陶。日本伝統工芸展をはじめ、多くの公募展でご活躍されておられます。信楽の土を用い、ピンクや紫などの背景色に抽象的な文様をくっきりと表現する色と線の均衡をぜひご覧ください。

「吹泥金彩鉢(すいでいきんさいばち)
(2025年伝統工芸陶芸部会展出品作品)」
(径32.8×高さ7cm)

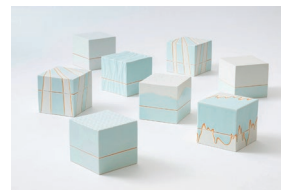
高島屋大阪店6階美術画廊のご案内 2025 9・10月

10月1日(水)～6日(月)

まつ かわ かず ひろ

松川 和弘 作陶展

河内長野で作陶を始めて20年、青白磁を中心に制作しておられます。第55回日本伝統工芸展では日本工芸会総裁賞を受賞されるなど注目の作家であり、青白磁・鉄流の作品から、面取りや銀彩、白磁まで幅広く展覧いたします。ご高覧よろしく願いいたします。



青白磁陶器「流れゆくもの」(各15.5×15.5×高さ14.5cm)

10月8日(水)～13日(月・祝)

ほん だ あ や

本多 亜弥 作陶展

愛知芸大大学院を修了されて故郷である奈良・天理市に戻ってこられて作陶。日本伝統工芸会の東海支部展で最高賞を受賞されるなど、その染付・彫の美しさに定評があります。美しい造形と染付、そして彫で描く大鉢など、この機会にぜひご高覧ください。



「染付彫鉢「山帰来」」(径28.8×高さ13.0cm)

人間国宝 鈴木 藏 展

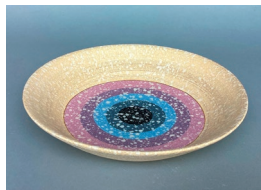
先生は1934年、岐阜県土岐市に生まれ、この地で焼かれた「志野」の研究と制作に邁進してこられました。常に時代に即した陶芸の在り方を模索し、桃山の原点を踏まえながらも、古陶の形式に拠り所を求めることなく、「現代の志野」を追求しておられます。力強さと格調の高さを併せ持つ志野茶碗を中心に、瀬戸黒茶碗や花器などの作品群を一堂に展覧いたします。時代を超えて新たな表現を切り拓いてこられた鈴木藏先生の作品世界を、ぜひこの機会にご高覧賜りますよう、ご案内申し上げます。

10月22日(水)～27日(月)

し みず いち じ

清水 一二 作陶展

丹波・立杭生まれで、現在も同地にて作陶。日本伝統工芸展をはじめ、多くの公募展でご活躍されておられます。信楽の土を用い、ピンクや紫などの背景色に抽象的な文様をくっきりと表現する色と線の均衡をぜひご覧ください。

「吹泥金彩鉢(すいでいきんさいばち)
(2025年伝統工芸陶芸部会展出品作品)」
(径32.8×高さ7cm)

やま ぐち あき こ

山口 暁子 展 -Echoes of You-

物語の中の印象的な言葉や、幼い頃の記憶をもとに、詩的かつノスタルジックなイメージを紡ぎ出す山口暁子先生。少女像、古書と小鳥、季節の花々など、絹本に表現されるその絵画世界は、観る側の遠い記憶をやさしく揺り起こし、幼き日の情景へと誘うことでしょう。



「昆虫記」(8F)



「志野茶碗」(14.0×13.2×8.7cm)

TAKASHIMAYA
2025 9・10月
Art Information
高島屋大阪店6階ギャラリーNEXTのご案内

10月1日(水)～13日(月・祝) ※10月7日(火)は開催いたします。

サイネンショーの13年

「サイネンショー 2014」
(21×29.5×高さ2.4cm)

サイネンショーとは、家庭に眠る使われなくなった陶磁器を集めて「再燃焼」することで新たなモノを作り、社会へ還すプロジェクトです。今展では、2013年からスタートしたプロジェクトを紹介するとともに、2025年に廃材を使って窯で「再燃焼」された作品の数々を展覧いたします。この機会にぜひともご覧ください。

ギャラリートーク

民藝から関係へ 一土と人がつなぐ未来—
■10月12日(日)午後3時から
(サイネンショー代表 松井利夫氏×コミュニティーデザイナー 山崎亮氏)

10月15日(水)～27日(月) ※10月21日(火)は開催いたします。

まつ おか

松岡 ミチヒロ 展 Traveling Device 空想動力機構



松岡先生の創り出す空想生物たちが、時の記憶と想像力の中を彷徨いながら“旅する物語”を紡ぎ出します。粘土で創り出す作品から錆びの匂い、リベットや金属肌の重み、そしてそれらを温度のある未来の“レトロフューチャー感”をお楽しみください。

「ハシビロコウ」(15×21×高さ53.5cm)